

令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-01		
施設名	荒川総合スポーツセンター				
所在地	南千住六丁目45番5号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
建築	昭和60年	2,930,000			
増改築①	令和元年	3,406,709	263,233	965,400	2,178,076
増改築②					
併設施設	南千住野球場				
竣工年月日	昭和60年3月25日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和60年6月2日		職員数	51	
構造	SRC造		階層	地上4階、地下1階	
面積	敷地面積		6,412.09 m <sup>2</sup>		
	延床面積		12,638.35 m <sup>2</sup>		
設置目的・経緯	スポーツ及びレクリエーションの普及・振興を図り、健康で文化的な区民生活の向上に寄与する				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川総合スポーツセンター条例				
駐車場の状況	57台	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	212台	対応状況	● 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	T M共同事業体	期間	令和2年4月1日 令和7年3月31日	から まで
事業内容	①管理運営 (小体育室、トレーニングルーム、温水プール、ホール、管理事務室、キッズルーム、スタジオ、エアライフル場、大体育室、卓球場、第1武道場、第2武道場、弓道場、洋室会議室、和室会議室、第1,2クラブ室) ②教室・講習会 (通年制教室、定期制スポーツ教室、1回制教室、キッズルーム教室、自主事業教室等)				
対象者	一般区民他				
運営時間等	運営時間	午前8時～午後10時30分			
	休日	1月1日～1月3日、館内整備等による臨時休館			

施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込み)
	団体利用者数 (人)		271,688	274,339	267,445	0
個人利用者数 (人)		221,455	228,278	217,745	0	146,000
教室受講者数 (人)		156,020	157,427	147,100	0	99,000
大体育室稼働率 (%)		91.0	91	92	0	93
小体育室稼働率 (%)		90	90	89	0	90
教室開催数 (回)		7,186	7,154	6,991	0	4,719
教室申込率 (%)		70	72	69.0	0	70
開館日数 (日)		358	358	344	0	301
に指定 用係る 等管理 費	指定管理料 (千円)	102,968	99,957	97,122	0	105,668
	指定管理者の支出合計 (千円)	272,991	273,878	268,587	0	272,874
	指定管理者の人員費 (千円)	109,836	117,507	118,247	0	137,933
	指定管理者の利用料金収入 (千円)	163,709	162,415	151,921	0	185,611

備考  
・団体利用者数、個人利用者数、教室受講者数ともに順調に増加している。  
※平成30年度は、大規模改修工事の事前準備に伴い3月中旬から全館休館となったため、個人利用者数、教室受講者数、教室開催数が減少している。

III 財務諸表

(単位:千円)

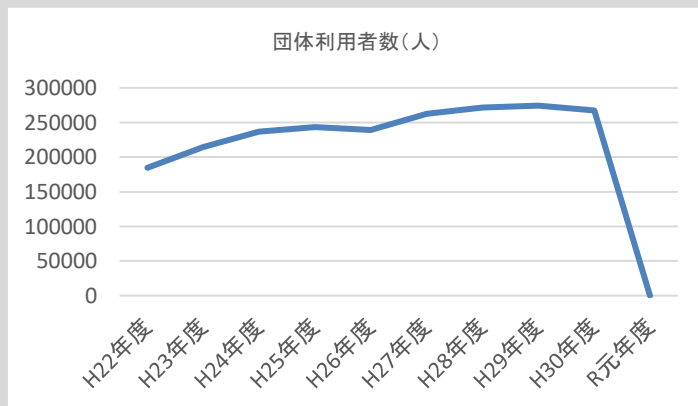
行政コスト計算書	勘定科目			H30年度	R元年度	差額	勘定科目			H30年度	R元年度	差額
	行政費用	給与関係費	0	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0	
	物件費	112,782	29,753	▲ 83,029			国庫支出金	0	0	0		
	維持補修費	0	0	0			都支出金	0	0	0		
	扶助費	0	0	0			分担金及び負担金	0	0	0		
	補助費等	47	282	235			使用料及び手数料	7,359	0	▲ 7,359		
	減価償却費	79,066	79,066	0			その他	2,341	14,753	12,412		
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0			行政収入合計(a)	9,700	14,753	5,053		
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0			行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 182,195	▲ 162,547	19,648		
	その他行政費用	0	68,199	68,199			金融収支差額(d)	▲ 1,402	▲ 322	1,080		
	行政費用合計(b)	191,895	177,300	▲ 14,595			通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 183,597	▲ 162,869	20,728		
	特別費用(g)	0	0	0			特別収入(f)	0	0	0		
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0			当期収支差額(e)+(h)	▲ 183,597	▲ 162,869	20,728		
貸借対照表	勘定科目			H30年度	R元年度	差額	勘定科目			H30年度	R元年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債			0	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	0			還付未済金	0	0	0		
	その他の流動資産	0	0	0			特別区債	0	0	0		
固定資産	有形固定資産	1,295,502	4,686,408	3,390,906			賞与引当金	0	0	0		
	土地	1,055,377	1,055,377	0			その他の流動負債	0	0	0		
	建物	2,928,362	6,313,992	3,385,630			固定負債	828,000	1,793,400	965,400		
	建物減価償却累計額	▲ 2,688,236	▲ 2,767,302	▲ 79,066			特別区債	828,000	1,793,400	965,400		
	工作物等	11,725	96,066	84,341			退職給与引当金	0	0	0		
	工作物等減価償却累計額	▲ 11,725	▲ 11,725	0			その他の固定負債	0	0	0		
	無形固定資産	0	0	0			負債の部合計	828,000	1,793,400	965,400		
	建設仮勘定	1,361,766	0	▲ 1,361,766			正味財産	1,829,268	2,893,008	1,063,740		
	その他の固定資産	0	0	0			正味財産の部合計	1,829,268	2,893,008	1,063,740		
	資産の部合計	2,657,268	4,686,408	2,029,140			負債及び正味財産の部合計	2,657,268	4,686,408	2,029,140		

備考  
令和元年度に実施した大規模改修工事により、固定資産が増加した。  
また、行政収入の使用料及び手数料は自動販売機の使用料を計上しているが、令和元年度は大規模改修工事による休館のため計上なし、その他収入はスポーツ振興くじ助成金等を計上している。

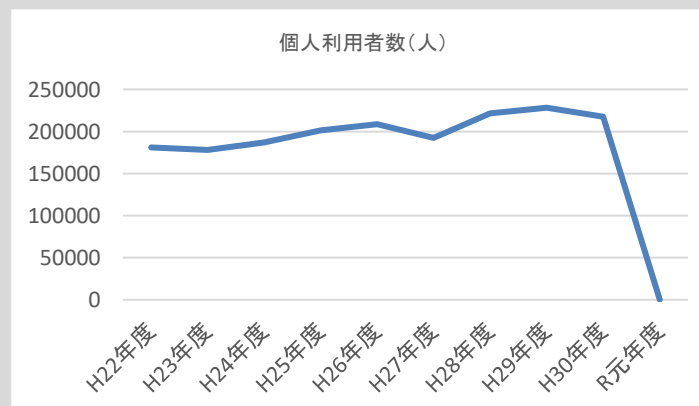
	指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	87	89	92	43.4	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	40	40	40	18.5	
	1㎡当たりコスト(円)	15,297	14,914	15,893	14,685	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	40	43	44.0	-	51
	利用者1人当たりコスト(円)	285	273	303	-	
	区民1人当たりコスト(円)	866	839	894	826	
	受益者負担比率(%)	54	46	42	-	
	開館1日当たりコスト(円)	515,922	502,986	557,834	-	
備考	区民1人当たり・開館1日当たりコストがスポーツハウス(委託方式で運営)と比較して低いのは、運営方法等の違いによるものである。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	利用者数	目標値 -	目標値 -	目標値 -	0	425,000
	実績値	589,801	649,163	632,290	0	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成19年度から指定管理者制度を導入) ○ 無					
利用者・地域のニーズ	○ 区のスポーツ振興の中心的な施設として、多くの区民にスポーツを楽しむ施設として利用されている。					
現状・課題	○ 令和元年度に実施した大規模改修で整備したバリアフリー機能を生かし、障がい者や高齢者を含む多くの区民がスポーツを楽しめる事業等を実施する必要がある。 ○ 新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながら施設を運営しなければならないため、様々な場面を想定した施設運営や事業等を実施していく必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○ 障がい者スポーツに関わる資格を有する職員の育成、地域との連携強化について指定管理者に働きかけを行う。 ○ 新型コロナウイルス対策として、スポーツ庁を始めとしたスポーツ関係団体のガイドラインや運用方法を参考にしつつ、当施設の実情にあわせた対策を行う。					
議会、利用者等からの意見	○ H28年決特 スポーツセンター 指定管理の決算について ○ H29年予特 大規模改修時の代替施設について ○ R1年9月会議 利用料金改定について					



令和元年度は大規模改修工事による休館のため計上なし



令和元年度は大規模改修工事による休館のため計上なし

令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-02		
施設名	荒川遊園スポーツハウス				
所在地	西尾久八丁目3番1号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	平成5年	3,070,000		
	増改築①				
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	平成5年6月24日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成5年7月26日		職員数	79	
構造	RC造(一部S造)		階層	地上3階、地下1階	
面積	敷地面積		1399.9m <sup>2</sup> m <sup>2</sup>		
	延床面積		4493.12m <sup>2</sup> m <sup>2</sup>		
設置目的・経緯	広く区民の利用に供し、区民の健康の増進と体力の維持向上を図るとともに、スポーツの振興に寄与する。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川遊園スポーツハウス条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	45台	対応状況	○ 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	株式会社日新ウエルネス	期間	令和2年4月1日 令和3年3月31日	から まで	
事業内容	①施設の管理運営(アリーナ、トレーニングルーム、会議室1,2、事務室、温水プール) ②教室運営(通年制水泳教室、通年制スポーツ教室、アリーナ自由会員制教室等)					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後9時30分				
	休日	年末年始(12月29日から1月3日)、館内整備等による臨時休館				
施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込み)
	団体利用者数(人)	19,086	17,535	16,307	19,070	11,000
	個人利用者数(人)	88,861	88,271	93,761	112,851	63,000
	教室受講者数(人)	58,160	54,341	58,029	57,545	38,000
	アリーナ稼働率(%)	44.0	49	49	55	50
	会議室稼働率(%)	28	24	23	18	19
	教室開催数(回)	2,509	2,285	2,468	2,366	1,687
	教室申込率(%)	49	50	53	55	56
	開館日数(日)	355	355	355	322	298
	委託料(千円)	91,964	101,825	95,811	103,212	107,007
に指定 等管理 費用						
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度は平成29年度と比較して団体利用は減少したものの、個人利用者及び教室受講者数は増加した。</li> <li>令和元年度は平成30年度と比較して個人・団体利用ともに増加した。新型コロナウイルス感染拡大防止により教室中止としたため、教室受講者数は減少した。</li> </ul>					

III 財務諸表

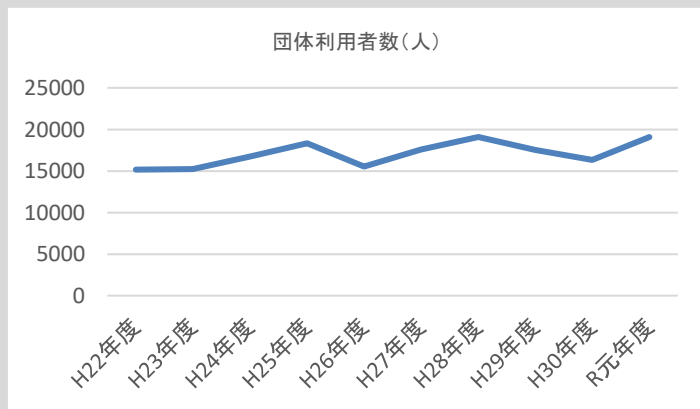
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	
	行政費用	給与関係費	13,797	11,639	▲ 2,158	地方税等	0	0	0
	物件費	180,643	190,566	9,923	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	47,516	45,900	▲ 1,616	
	減価償却費	87,728	87,728	0	その他	30,571	32,259	1,688	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	78,087	78,159	72	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 204,081	▲ 211,774	▲ 7,693	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	282,168	289,933	7,765	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 204,081	▲ 211,774	▲ 7,693	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 204,081	▲ 211,774	▲ 7,693	
貸借対照表	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	固定資産	有形固定資産	1,036,273	950,616	▲ 85,657	賞与引当金	0	0	0
		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
		建物	3,111,239	3,111,239	0	固定負債	0	0	0
		建物減価償却累計額	▲ 2,074,966	▲ 2,160,622	▲ 85,656	特別区債	0	0	0
		工作物等	37,588	37,588	0	退職給与引当金	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	▲ 37,588	▲ 37,588	0	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	
	建設仮勘定	3,461	3,461	0	正味財産	1,048,021	960,293	▲ 87,728	
	その他の固定資産	8,287	6,216	▲ 2,071	正味財産の部合計	1,048,021	960,293	▲ 87,728	
	資産の部合計	1,048,021	960,293	▲ 87,728	負債及び正味財産の部合計	1,048,021	960,293	▲ 87,728	
備考	行政費用では、委託料として物件費が多くかかっている。行政収入では、施設使用料及び教室受講料が主であり、令和元年度は新型コロナウイルスの影響により、施設を休止したことにより減少した。								

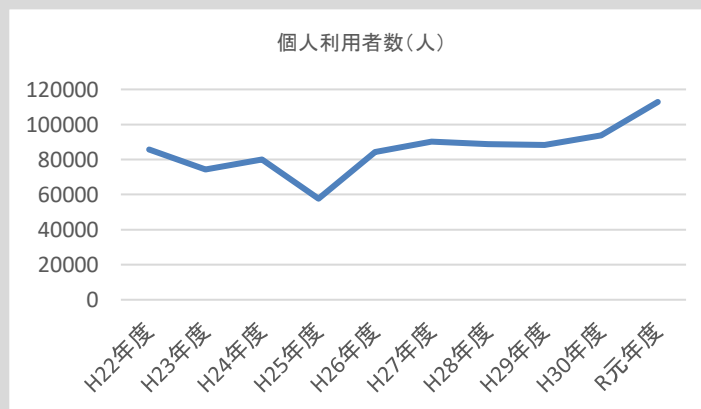
	指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	63	64	67	69.8	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	32	31	31	31.1	
	1㎡当たりコスト(円)	52,754	64,215	63,148	64,528	
	受益者負担比率(%)	20	15	17	15.8	
	開館1日当たりコスト(円)	667,690	812,749	799,245	900,413	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,427	1,802	1,688	1,530	
	区民1人当たりコスト(円)	1,112	1,344	1,322	1,351	
備考	管理運営は委託方式を採用しているため、荒川総合スポーツセンターと比較して物件費が多くかかっていることにより、開館1日当たりコスト・利用者1人当たりコストが多くかかっている。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	利用者数	目標値 -	目標値 -	目標値 -	目標値 -	目標値 113,000
	実績値	166,107	160,147	168,097	189,498	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 現状維持 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● その他(指定管理者制度の導入検討)					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無					
利用者・地域のニーズ	○ 尾久地区居住者の利用が多く、地域密着型の施設として利用されている。					
現状・課題	○ 施設や設備の計画的な修繕を実施する必要がある。 ○ バリアフリー環境を目指し、障がい者や高齢者を含めた多くの区民が利用しやすい施設とする必要がある。 ○ 荒川総合スポーツセンターとの連携を含め、効率的・効果的な管理・運営方法等の検討が必要である。					
課題に対する現時点での考え	○ 利用者からの意見・要望を踏まえて、特色のある施設運営や修繕において改善を検討する。 ○ 指定管理者制度の導入を含めて検討を進める。					
議会、利用者等からの意見	○ H26 6月定例会 ボルダリングの設置について ○ H29 予特 音響設備の更新、会議室什器の更新、子ども用便座の設置について ○ H30 決特 施設の老朽化・使い勝手及び今後の回収予定・方針の検討について					



令和元年度は、荒川総合スポーツセンター大規模改修工事の影響により、団体利用者が増加した。



令和元年度は、荒川総合スポーツセンター大規模改修工事の影響により、個人利用者が増加した。

令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-05		
施設名	区民運動場				
所在地	西尾久三丁目14番3号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
建築	昭和54年3月				
増改築①	平成27年4月	370,000			
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	昭和54年3月		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和54年3月		職員数	0	1
構造			階層		
面積	敷地面積		7,339 m <sup>2</sup>		
	延床面積		569 m <sup>2</sup>		
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署	教育委員会事務局 教育施設課				
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	○ エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	20台	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から まで	
事業内容	①管理業務（管理事務所・多目的グラウンド・小広場・駐輪場） ：シルバー人材センター（R2.4.1～R3.3.31） ②補修業務（多目的グラウンド・小広場・駐輪場）：中田興業（R2.4.1～R3.3.31） ③清掃業務（管理事務所）：エクシズ（H30.4.1～R3.3.31）					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	土日祝の9:00～17:00（5月～9月は1時間延長可）				
	休日	平日、年末年始12/29～1/3、土日祝の学校行事及び授業公開日等				
施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度（見込み）
	多目的グラウンド利用者数	8,096	7,722	8,712	8,976	6,980
	小広場利用者数	1,272	1,278	1,318	1,320	1,081
	多目的グラウンド（件数）	368	351	396	408	317
	小広場（件数）	636	639	659	660	540
	稼働率（多目的）	94	97	96	98	96
	稼働率（小広場）	82	85	80	82	82
	開場日数	116	119	115	119	97
	委託料（円）	6,319,143	6,335,414	6,540,580	7,227,843	7,082,081
に指定 等管理 費用						
備考	土日祝のみの貸出であるため、稼働率は高く推移している。					

III 財務諸表

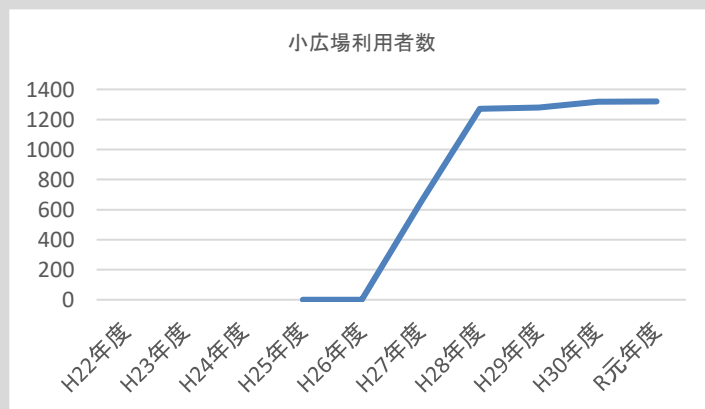
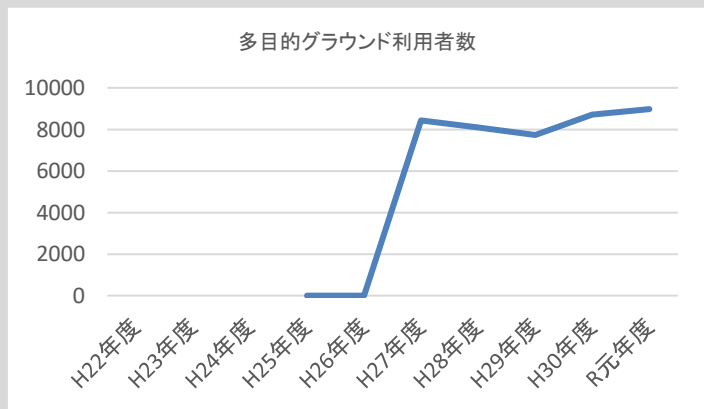
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目		H30年度	R元年度	差額	行政収入	勘定科目		H30年度	R元年度	差額
	給与関係費		0	0	0		地方税等		0	0	0
物件費		7,003	7,555	552	国庫支出金		0	0	0		
維持補修費		297	0	▲ 297	都支出金		0	0	0		
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
補助費等		1	1	0	使用料及び手数料		690	653	▲ 37		
減価償却費		30,940	30,940	0	その他		0	0	0		
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)		690	653	▲ 37		
賞与・退職給与引当金繰入額		0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 37,551	▲ 37,843	▲ 292		
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0		
行政費用合計(b)		38,241	38,496	255	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 37,551	▲ 37,843	▲ 292		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 37,551	▲ 37,843	▲ 292		
貸借対照表	勘定科目		H30年度	R元年度	差額	勘定科目		H30年度	R元年度	差額	
	流動資産		0	0	0	流動負債		0	0	0	
	不納欠損引当金		0	0	0	還付未済金		0	0	0	
	その他の流動資産		0	0	0	特別区債		0	0	0	
	有形固定資産		1,165,306	1,134,366	▲ 30,940	賞与引当金		0	0	0	
	土地		709,032	709,032	0	その他の流動負債		0	0	0	
	建物		217,754	217,754	0	固定負債		0	0	0	
	建物減価償却累計額		▲ 35,276	▲ 41,155	▲ 5,879	特別区債		0	0	0	
	工作物等		374,039	374,039	0	退職給与引当金		0	0	0	
	工作物等減価償却累計額		▲ 100,242	▲ 125,303	▲ 25,061	その他の固定負債		0	0	0	
無形固定資産		0	0	0	負債の部合計		0	0	0		
建設仮勘定		0	0	0	正味財産		1,165,306	1,134,366	▲ 30,940		
その他の固定資産		0	0	0	正味財産の部合計		1,165,306	1,134,366	▲ 30,940		
資産の部合計		1,165,306	1,134,366	▲ 30,940	負債及び正味財産の部合計		1,165,306	1,134,366	▲ 30,940		
備考	行政費用では、物件費が多くかかっている。物件費の大部分を占めるのは委託料(日常補修業務、清掃業務、管理業務)である。平成30年度は設備修繕をしたため、維持補修費が発生した。行政収入は、運動場の使用料収入である。										

	指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	12	18	23	28.1	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	10	15	19	23.0	
	1㎡当たりコスト(円)	5,127	5,125	5,211	5,245	
	受益者負担比率(%)	2	2	2	1.7	
	開館1日当たりコスト(円)	324,388	316,050	332,530	323,496	
	利用者1件当たりコスト(円)	4,017	4,179	3,813	3,739	
	区民1人当たりコスト(円)	176	175	178	179	
備考	各コストとも、大きな変動なく推移している。1日当たりコストが他の運動場と比較して高いのは、平日は中学校として使用しているため、土日祝のみの可動によるものである。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	利用件数	目標値 -	目標値 -	目標値 -	目標値 -	目標値 857
		実績値 1,004	実績値 990	実績値 1,055	実績値 1,068	実績値 -
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ 民営化 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無					
利用者・地域のニーズ	区営スポーツ施設で唯一の人工芝グラウンドであり、雨天等においても利用可能であるなど利用しやすいことから利用者が多い。					
現状・課題	○駐輪場の駐輪可能台数が限られているため、対応が必要である。 ○小広場では日陰がないため、熱中症対策が必要である。 ○人工芝は劣化していくため、今後は補修対応が必要となってくる。					
課題に対する現時点での考え	○大会等の開催時には、学校のスペースを活用し、駐輪場スペースを確保する。 ○日除けを確保するなどの熱中症対策を行う。あわせて、気温と人工芝の表面温度について計測し、必要に応じて利用者へ注意喚起を行う。 ○施設の補修について、計画的に対応していく。					
議会、利用者等からの意見						



令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-04		
施設名	東尾久運動場				
所在地	東尾久七丁目1番1号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	平成3年5月	国・都	区債	一般財源
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	平成3年5月		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成3年5月	職員数	0	1	
構造		階層			
面積	敷地面積			29,195	m <sup>2</sup>
	延床面積			114	m <sup>2</sup>
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	60台	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> だれでもトイレ	
駐輪場の状況	約90台	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から
				下記のとおり	まで
事業内容	①管理：テニス5面（人工芝）、小広場、スリ-オ-スリ-、多目的広場：シルバー人材センター（R2.4.1~R3.3.31） ②補修：テニス5面（人工芝）、小広場、スリ-オ-スリ-、多目的広場：北川商会（R2.4.1~R3.3.31） ③駐車場管理運営業務：タイムズ24株式会社（H30.9~R.3.31） ④多目的広場トイレ清掃：シルバー人材センター（R2.4.1~R3.3.31）				
対象者	一般区民他				
運営時間等	運営時間	4~9月9:00~18:00、10・3月9:00~17:00、11~2月9:00~16:00（4~10月土日祝7:00~、11~12月土日祝8:00~）			
	休日	年末年始12/29~1/3			

施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度（見込み）
		庭球場、多目的広場等利用者数	40,195	26,824	23,900	47,154
庭球場、多目的広場等（件数）	10,837	8,732	8,440	9,242	7,761	
稼働率（庭球場）	60	51	52	59	56	
稼働率（多目的）	45	49	24	58	44	
開場日数	359	359	359	359	359	
委託料（円）	9,429,450	18,887,040	18,501,387	24,635,271	28,736,718	
に指定等管理費						

備考 平成29、30年度については、多目的広場及び駐車場の工事を実施していたため、例年と比較し利用実績が減少している。また、平成29年度に多目的広場及び駐車場の工事設計委託費用、平成30年度以降は維持補修経費がかかっている。

III 財務諸表

(単位:千円)

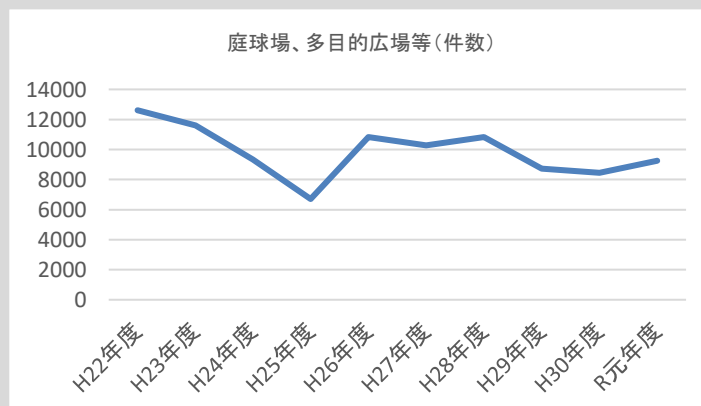
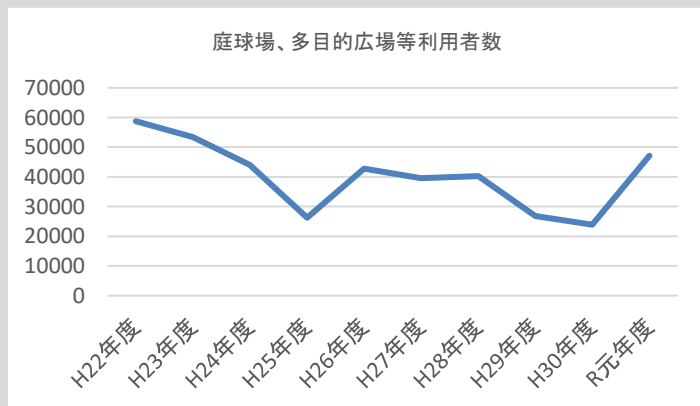
行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0
	物件費	32,958	32,383	▲ 575	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	1,277	499	▲ 778	都支出金	22,499	0	▲ 22,499
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	29	14	▲ 15	使用料及び手数料	8,082	14,923	6,841
	減価償却費	1,117	6,611	5,494	その他	16,128	90	▲ 16,038
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	46,709	15,013	▲ 31,696
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 29,636	▲ 24,494	5,142
	その他行政費用	40,964	0	▲ 40,964	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	76,345	39,507	▲ 36,838	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 29,636	▲ 24,494	5,142
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 29,636	▲ 24,494	5,142
貸借対照表	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	93,988	87,796	▲ 6,192	賞与引当金	0	0	0
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	43,776	43,776	0	固定負債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 23,908	▲ 25,352	▲ 1,444	特別区債	0	0	0
	工作物等	114,550	114,550	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 40,430	▲ 45,178	▲ 4,748	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	97,341	90,729	▲ 6,612
	その他の固定資産	3,353	2,933	▲ 420	正味財産の部合計	97,341	90,729	▲ 6,612
	資産の部合計	97,341	90,729	▲ 6,612	負債及び正味財産の部合計	97,341	90,729	▲ 6,612

備考 行政費用では、物件費の大部分を占めるのは委託料(日常補修業務、貸出業務、駐車場の運営業務等)である。平成30年度に多目的広場拡張整備工事に要した経費(その他行政費用)、多目的広場整備に係る都補助金(都支出金)が発生した。使用料については、平成30年度半年分であった東尾久運動場駐車場の使用料収入が1年間分となり増加した。

	指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	94	90	41	44.5	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	74	69	31	33.8	
	1㎡当たりコスト(円)	405	1,928	2,695	1,394	
	受益者負担比率(%)	43	7	11	37.8	
	開館1日当たりコスト(円)	31,939	152,162	212,660	110,047	
	利用者1人当たりコスト(円)	285	2,036	3,194	838	
	区民1人当たりコスト(円)	54	255	356	184	
備考	平成29年度の開館1日当たりコスト、利用者1人当たりコストが高いのは、拡張整備工事により施設を休場(H29.5~H30.9)していたことによるものである。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	利用件数	10,837	8,732	8,440	9,242	7,761
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他( )	○ 他施設との統合	○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無					
利用者・地域のニーズ	テニスコートは平日も含め利用率が高い					
現状・課題	○テニスコートの人工芝については、安全に利用できるよう対策を行う必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○安全に利用できる状態にするため、テニスコートの人工芝の一部については改修を行う。					
議会、利用者等からの意見	○H29年決特 多目的広場の人工芝化について フェンスの高さの検討について					





令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-03			
施設名	南千住野球場					
所在地	南千住六丁目45番6号					
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
	建築	昭和57年7月	5,600,000	国・都	区債	一般財源
	増改築①					
	増改築②					
併設施設						
竣工年月日	昭和57年7月		常勤・非常勤	その他		
供用開始年月日	昭和57年7月		職員数			
構造			階層			
面積	敷地面積			17,415	m <sup>2</sup>	
	延床面積				m <sup>2</sup>	
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。					
関連部署						
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例					
駐車場の状況	57台	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> だれでもトイレ		
駐輪場の状況	212台	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> スロープ		



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から まで
事業内容	①体育施設受付及び貸出業務(野球場2面): TM共同事業体(R2.4.1~R3.3.31) ②補修管理(野球場2面、外周): ケルンビルシステム(R2.4.1~R3.3.31)				
対象者	一般区民他、区民以外も可				
運営時間等	運営時間	4~10月9:00~20:45(日・祝は7:00~)、11~2月9:00~15:30、3月9:00~17:30			
	休日	年始1/1~1/3			

施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込み)
	野球場利用者数		23,760	24,876	21,492	13,554
野球場(件数)		1,320	1,382	1,194	753	969
稼働率		47	49	44	26	42
開場日数		362	362	314	357	308
委託料(円)		3,847,780	8,885,440	8,885,440	9,260,095	8,869,120
に指定 等する 管理 費						

備考 休日を中心に利用されており、令和元年度の休日利用実績は40%以上である。平成29年度以降清掃・ゴミ処理業務に外周回りの粗大ゴミ、不法投棄ゴミの運搬及び適正処理業務を含めたため委託料が増加した。

III 財務諸表

(単位:千円)

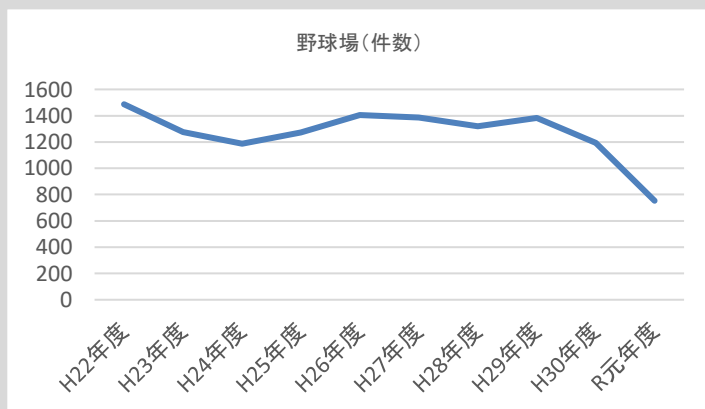
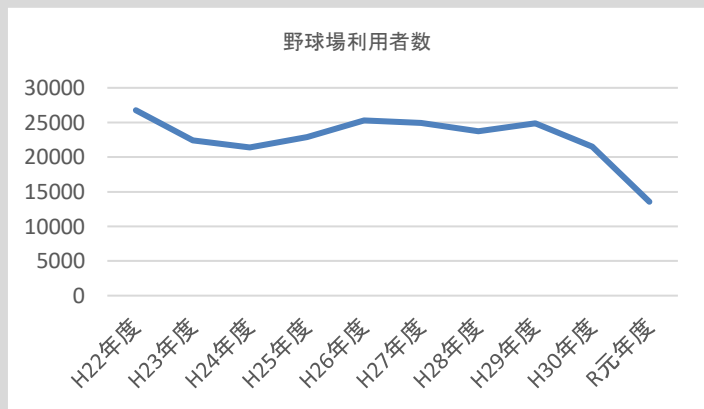
行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
物件費	15,255	30,119	14,864	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費	292	297	5	都支出金	0	0	0	
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等	24	1	▲23	使用料及び手数料	2,762	1,739	▲1,023	
減価償却費	54	54	0	その他	0	0	0	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	2,762	1,739	▲1,023	
賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲12,863	▲28,732	▲15,869	
その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)	15,625	30,471	14,846	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲12,863	▲28,732	▲15,869	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲12,863	▲28,732	▲15,869	
貸借対照表	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	流動資産	0	0	0	流動負債	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	
有形固定資産	3,067,267	3,067,213	▲54	賞与引当金	0	0	0	
土地	3,066,735	3,066,735	0	その他の流動負債	0	0	0	
建物	0	0	0	固定負債	0	0	0	
建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0	
工作物等	350,077	350,077	0	退職給与引当金	0	0	0	
工作物等減価償却累計額	▲349,545	▲349,599	▲54	その他の固定負債	0	0	0	
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	3,067,267	3,067,213	▲54	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	3,067,267	3,067,213	▲54	
資産の部合計	3,067,267	3,067,213	▲54	負債及び正味財産の部合計	3,067,267	3,067,213	▲54	

備考 行政費用では、物件費が多くかかっており、大部分を占めるのは委託料(日常補修業務、照明点検、受付業務等)である。行政収入は、運動場の使用料収入である。

指標		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却費(%)	100	100	100	99.9	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	100	100	100	99.9	
	1㎡当たりコスト(円)	803	826	897	1,750	
	受益者負担比率(%)	20	21	18	5.7	
	開館1日当たりコスト(円)	38,633	39,754	49,761	85,353	
	利用者1人当たりコスト(円)	589	579	727	2,248	
	区民1人当たりコスト(円)	66	67	73	142	
備考	平成30年度は荒川総合スポーツセンターの大規模改修工事に伴い、開場日数が減少したため、開館1人当たりのコストが増加した。その他の各コストについては、大きな変動なく推移している。他の野球場と比較して1人当たりに要するコストが低いのは、立地状況が良く、平日昼間の稼働率が他と比較して高いためである。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	利用件数	目標値 -	実績値 1,320	-	1,382	-
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無					
利用者・地域のニーズ	立地に恵まれ、設備も整っているため平日昼間の利用率も高い。					
現状・課題	○野球場外周の樹木に害虫が発生しやすいため、剪定や消毒などの対策が必要である。 ○野球場外周の樹木については、倒木等の可能性もあるため管理が必要である。 ○野球場は区道、民間住宅に隣接しているため、防球ネット等の安全対策が必要である。					
課題に対する現時点での考え	○施設周辺の歩行者等への注意喚起を図るとともに、施設の安全対策(樹木剪定、防球ネット設置の検討)を実施する。					
議会、利用者等からの意見						



令和2年度 施設分析シート

<b>I 施設の概要</b>		施設コード	S05-03-08		
施設名	少年運動場				
所在地	足立区小台一丁目22番地先				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和45年11月			
	増改築①	平成28年1月	79,380		
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和45年11月		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和45年11月		職員数	0	1
構造			階層		
面積	敷地面積		47,641 m <sup>2</sup>		
	延床面積		m <sup>2</sup>		
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	92台	バリアフリー	○ エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	約290台	対応状況	○ 点字ブロック	○ スロープ	



**II 管理運営の状況**

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から まで
事業内容	①管理・補修業務(少年野球場7面、サッカー場1面、多目的広場1面、駐車場) :ケルンビルシステム(R2.4.1~R3.3.31) ②駐車場利用者確認業務(駐車場):シルバー人材センター(R2.4.1~R3.3.31)				
対象者	一般区民他				
運営時間等	運営時間	4~9月6:00~18:00、10・3月7:00~17:00、11~2月8:00~16:00			
	休日	年末年始12/29~1/3			

施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込み)
	野球場、サッカー場等利用者数		87,508	79,824	78,880	48,876
野球場、サッカー場等(件数)		4,712	4,218	4,230	2,648	3,293
稼働率(野球場)		32	27	27	31	29
稼働率(サッカー場)		27	28	25	22	26
稼働率(多目的)		24	35	28	10	24
開場日数		359	359	359	203	305
委託料(円)		25,230,091	29,567,471	27,908,133	73,362,695	28,289,971
に指定 等管理 費理						

備考 令和元年度は、台風による冠水被害により運動場が使用できなかったため、開場日数及び利用者数、利用件数が減少した。

**III 財務諸表**

(単位:千円)

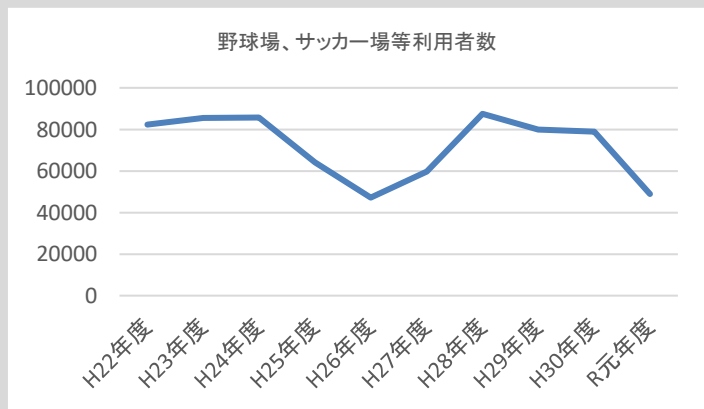
行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0
	物件費	2,984	5,892	2,908	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	297	499	202	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	2	2	使用料及び手数料	807	486	▲ 321
	減価償却費	4,958	918	▲ 4,040	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	807	486	▲ 321
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 7,432	▲ 6,825	607
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	8,239	7,311	▲ 928	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 7,432	▲ 6,825	607
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 7,432	▲ 6,825	607
貸借対照表	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	21,379	20,461	▲ 918	賞与引当金	0	0	0
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	13,574	13,574	0	固定負債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 1,344	▲ 1,792	▲ 448	特別区債	0	0	0
	工作物等	74,848	74,848	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 65,698	▲ 66,169	▲ 471	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	21,379	20,461	▲ 918
	その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	21,379	20,461	▲ 918
	資産の部合計	21,379	20,461	▲ 918	負債及び正味財産の部合計	21,379	20,461	▲ 918

備考 行政費用では、物件費が多くかかっており、物件費の大部分を占めるのは委託料(日常補修業務、駐車場管理運営)である。日常補修業務は「西新井橋野球場」に含む(一括契約)。令和元年度は台風による冠水被害の普及整備委託を行ったため、物件費が増加した。行政収入では、冠水被害により運動場を使用できなかったため使用料収入が減少した。

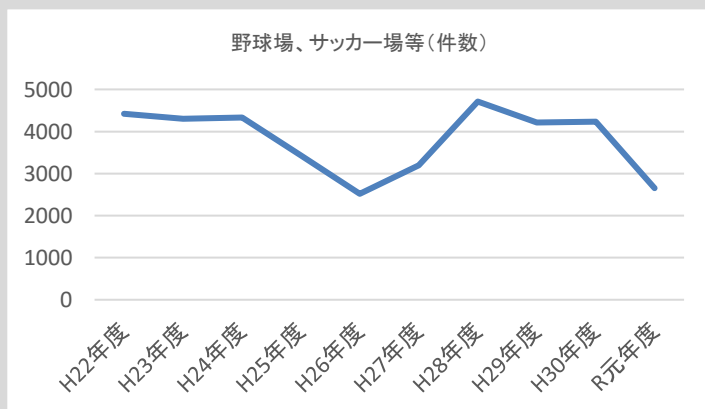
	指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	69	70	76	76.9	
	有形固定資産減価償却費(80年)(%)	69.0	69	75	75.0	
	1㎡当たりコスト(円)	261	247	173	153	
	受益者負担比率(%)	7	9	10	6.6	
	開館1日当たりコスト(円)	34,652	32,811	22,950	36,015	
	利用者1人当たりコスト(円)	142	148	104	150	
	区民1人当たりコスト(円)	58	55	38	34	
備考	各コストとも、大きな変動なく推移している。 日常補修に要する経費が「西新井橋野球場」に含まれるため、開館1日当たり・1人当たりコストが低くなっている。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	利用件数	目標値 -	実績値 4,712	-	4,218	3,293
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他( )	○ 他施設との統合	○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無					
利用者・地域のニーズ	少年野球7面を有し、大会開催等の実施会場として需要が高い。					
現状・課題	○河川敷に設置しているため、河川管理上の制約があることから、施設の整備についても制約がある。					
課題に対する現時点での考え	○利用者が安全かつ快適に利用できるよう、貸出ルールや運営方法などのソフト面での対応について検討する。					
議会、利用者等からの意見	○H29年決特 トイレの手洗い場の案内について					



令和元年度は、台風による冠水被害により運動場が使用できなかったため、利用者数が減少した。



令和元年度は、台風による冠水被害により運動場が使用できなかったため、利用件数が減少した。

令和2年度 施設分析シート

<b>I 施設の概要</b>		施設コード	S05-03-06		
施設名	荒川遊園運動場				
所在地	西尾久八丁目1番2号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和62年4月			
	増改築①	平成5年10月	140,000		
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	平成5年4月		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成5年4月		職員数	0	1
構造			階層		
面積	敷地面積		5,430 m <sup>2</sup>		
	延床面積		m <sup>2</sup>		
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> スロープ	



**II 管理運営の状況**

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から まで
事業内容	①受付・開閉場（運動場）：株式会社日新ウエルネス（R2.4.1～R3.3.31） ②補修業務（運動場）：上園緑地建設（R2.4.1～R3.3.31） ③樹木剪定（運動場・スポーツハウス）：パシフィック（R2.4.1～R3.3.31）				
対象者	一般区民他				
運営時間等	運営時間	9:00～20:00（日・祝は7:00～20:00）			
	休日	年末年始12/29～1/3			

施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度（見込み）
	運動場利用者数		21,480	20,940	21,160	20,380
運動場（件数）		1,074	1,047	1,058	1,019	875
稼働率		62	64	57	71	64
開場日数		359	359	359	359	305
委託料（円）		5,337,036	6,482,592	6,193,951	7,400,194	8,926,766
に指定 等管理 費理						

備考 屋外施設のため、天候等により使用できない日があるため、令和元年度の利用件数は例年と比較して減少しているが、稼働率は増加した。

**III 財務諸表**

(単位:千円)

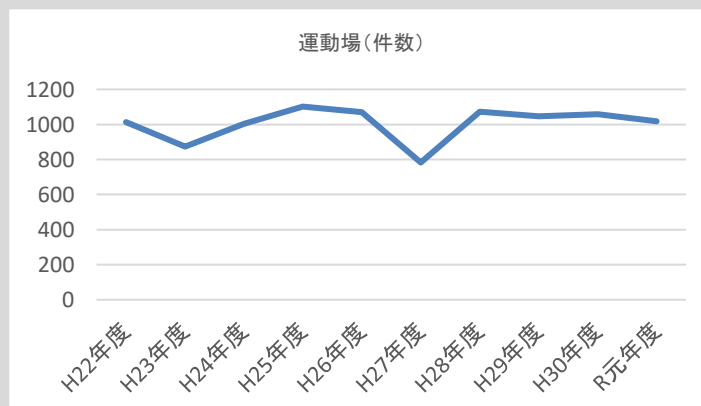
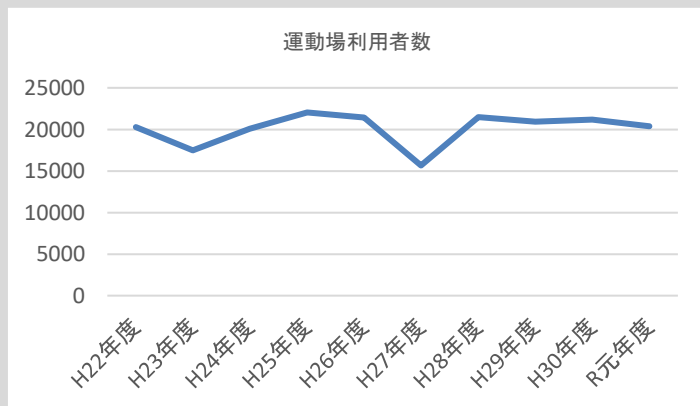
行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0
物件費		6,901	7,509	608	国庫支出金	0	0	0
維持補修費		38	79	41	都支出金	0	0	0
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
補助費等		0	0	0	使用料及び手数料	1,251	1,108	▲ 143
減価償却費		0	0	0	その他	0	0	0
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)	1,251	1,108	▲ 143
賞与・退職給与引当金繰入額		0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 5,688	▲ 6,480	▲ 792
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
行政費用合計(b)		6,939	7,588	649	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 5,688	▲ 6,480	▲ 792
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 5,688	▲ 6,480	▲ 792	
貸借対照表	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0	固定負債	0	0	0
	建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	140,235	140,235	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 140,235	▲ 140,235	0	負債の部合計	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	正味財産	0	0	0	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	0	0	0	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0	
資産の部合計	0	0	0					

備考 行政費用では、物件費が多くかかっており、物件費の大部分を占めるのは委託料（日常補修業務、外周樹木剪定）である。行政収入は、運動場の使用料収入である。

指標		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却費(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	
	1㎡当たりコスト(円)	1,003	1,309	1,278	1,397	
	受益者負担比率(%)	24	15	18.0	14.6	
	開館1日当たりコスト(円)	15,173	19,802	19,329	21,136	
	利用者1人当たりコスト(円)	254	339	328	372	
	区民1人当たりコスト(円)	26	33	32	35	
備考	施設規模が大きくないため、開場1日当たり・利用者1日当たり・利用者1人当たりコストのいずれも他と比較して低コストで運営ができています。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	利用件数	目標値 -	目標値 -	目標値 -	目標値 -	目標値 875
		実績値 1,074	実績値 1,047	実績値 1,058	実績値 1,019	実績値 -
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無					
利用者・地域のニーズ	野球、サッカー以外にも、ゲートボール、地域のイベントなど様々な活用がなされている。					
現状・課題	○多目的な利用(サッカー・野球・地域のイベント等)が可能のため、各団体ごとに求めるグラウンド条件が異なる。 ○強風時に砂ぼこりが発生しやすいため、散水等の対策が必要である。					
課題に対する現時点での考え	○各団体と調整を図るなど運動場の特性を生かした運用を図る。 ○強風が予想される際には、事前に散水を行ったり利用者や協力して、散水を実施するなどして、砂ぼこりの発生を防ぐ取組を継続していく。					
議会、利用者等からの意見	○H29決特 平日の運動場の開放について					



令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-07		
施設名	西新井橋野球場				
所在地	足立区千住元町36番7号先				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
建築	昭和34年4月				
増改築①	平成27年5月	101,079			
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	昭和34年4月		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和34年4月		職員数	0	1
構造			階層		
面積	敷地面積		35,057 m <sup>2</sup>		
	延床面積		m <sup>2</sup>		
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	50台	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input checked="" type="radio"/> だれでもトイレ	
駐輪場の状況	約150台	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から まで
事業内容	①管理・補修業務(大人野球場5面、駐車場):ケルンビルシステム (R2.4.1~R3.3.31) ②駐車場利用者確認業務(駐車場):シルバー人材センター (R2.4.1~R3.3.31)				
対象者	一般区民他				
運営時間等	運営時間	4~9月6:00~18:00、10・3月7:00~17:00、11~2月8:00~16:00			
	休日	年末年始12/29~1/3			

施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込み)
	野球場利用者数		16,650	19,998	20,646	11,196
野球場(件数)		925	1,111	1,147	622	793
稼働率		10	15	14	9	12
開場日数		359	359	359	203	305
委託料(円)		13,003,856	17,370,097	19,390,277	41,599,059	17,443,861
に指定 等 管理 費						

備考 令和元年度は、台風による冠水被害により運動場が使用できなかったため、開場日数及び利用者数、利用件数が減少した。

III 財務諸表

(単位:千円)

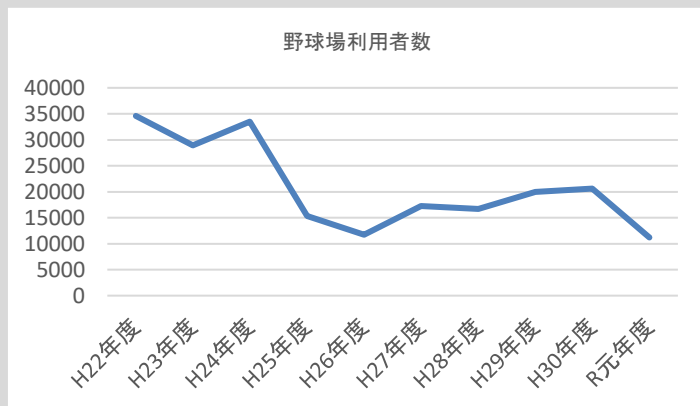
行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
物件費	44,843	112,951	68,108	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費	230	0	▲230	都支出金	0	0	0	
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等	6	3	▲3	使用料及び手数料	641	341	▲300	
減価償却費	7,220	7,220	0	その他	0	0	0	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	641	341	▲300	
賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲51,658	▲119,833	▲68,175	
その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)	52,299	120,174	67,875	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲51,658	▲119,833	▲68,175	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲51,658	▲119,833	▲68,175	
貸借対照表	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0	
その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0	
有形固定資産	93,985	86,765	▲7,220	その他の流動負債	0	0	0	
土地	993	993	0	固定負債	0	0	0	
建物	14,660	14,660	0	特別区債	0	0	0	
建物減価償却累計額	▲2,430	▲2,878	▲448	退職給与引当金	0	0	0	
工作物等	101,223	101,223	0	その他の固定負債	0	0	0	
工作物等減価償却累計額	▲20,461	▲27,233	▲6,772	負債の部合計	0	0	0	
無形固定資産	0	0	0	正味財産	93,985	86,765	▲7,220	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	93,985	86,765	▲7,220	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	93,985	86,765	▲7,220	
資産の部合計	93,985	86,765	▲7,220					

備考 行政費用のうち物件費は委託料(日常補修業務、駐車場管理運営)が大宗を占めている。なお、日常補修業務は「少年運動場」の経費も含んでいる(一括契約)。令和元年度は、台風19号による冠水被害の復旧整備委託を行ったため、物件費が増加した。行政収入は、冠水被害により運動場を使用できなかったため、使用料収入が減少した。

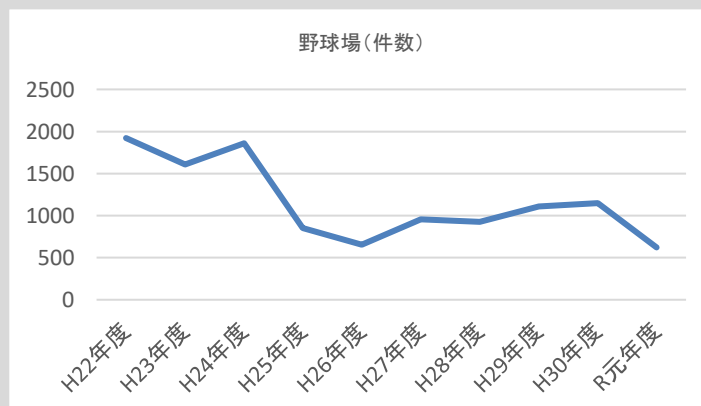
指標		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却費 (%)	7	14	20	26.0	
	有形固定資産減価償却費 (80年) (%)	7	13	18	24.3	
	1㎡当たりコスト	1,143	1,467	1,492	3,428	
	受益者負担比率 (%)	2	1	1	0.3	
	開館1日当たりコスト(円)	111,641	143,237	145,680	591,990	
	利用者1人当たりコスト(円)	2,407	2,571	2,533	10,734	
	区民1人当たりコスト(円)	188	240	244	560	
備考	開館1日当たり、利用者1日当たりコストが高いのは、当施設は河川敷に設置しているため、平日の利用が少ないことによるものである。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	利用件数	925	1,111	1,147	622	-
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他( )	○ 他施設との統合	○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無					
利用者・地域のニーズ	大人の軟式野球会場として5面を有し、大会開催等の実施会場として需要が高い。					
現状・課題	○河川敷に設置しているため、河川管理上の制約があることから、施設の整備についても制約がある。					
課題に対する現時点での考え	○利用者が安全かつ快適に利用できるよう、貸出ルールや運営方法などソフト面での対応について検討する。					
議会、利用者等からの意見	○H29年決特 トイレの手洗い場の案内について					



令和元年度は、台風による冠水被害により運動場が使用できなかったため、利用者数が減少した。



令和元年度は、台風による冠水被害により運動場が使用できなかったため、利用件数が減少した。